

図書だより

図遊学館よも〜よ ☎582-5388

／ 今月のおすすめ ／

醸芳中2年生のイチ押し



児童書

■スミミー
レオ＝レオニ：作
谷川俊太郎：訳（好学社）
みんなとちがう黒色のスミミーが、「ぼくが、めに なろう。」と、仲間と協力する大切さを感じるお話です。ぜひ読んでみてください。
【紹介者：渡辺 航大さん】



児童書

■かくれんぼ
尾崎玄一郎、尾崎由紀奈：作・絵（ひさかたチャイルド）
「もういいかい。まーだだよ。もういいかい。もういいよ。」ちょっと不思議で楽しいかくれんぼ。どこに隠れているか、探しながらかいてみてください！
【紹介者：穂積 幸芽さん】



児童書

■はっきよい どーん やまもとななこ：作（講談社）
迫力満点◎横綱・武留道山（ぶるどうざん）と、小結・明の海（あけのうみ）の優勝を決める大一番！迫力満点のイラストと文字で描かれています。
【紹介者：角館 真宙さん】



ネット
予約



NEWS

夜の図書室で、おはなし会や館内体験 ぬいぐるみのおとまり会で大冒険

ぬいぐるみが夜の図書室で楽しく過ごす「ぬいぐるみのおとまり会」が7月25日から28日までの3泊4日、遊学館よも〜よで行われました。

子どもたちの感受性を育て、図書室に足を運びきっかけをつくろうと、今回初めて企画。小学生までの子どもたちから大切にしている約30体のぬいぐるみを預かり、おはなし会や司書の仕事を“体験”してもらいました。

活動の様子は、毎晩町のホームページで更新。参加者からは「写真を一枚一枚見て、ぬいぐるみの様子を楽しく見ていた」「お迎えの日に手作りのアルバムのプレゼントと、ぬいぐるみが選んでくれた本の貸し出しがあってうれしかった」との感想が寄せられました。



★好評につき、来年2月ごろに「冬のおとまり会」を実施します。日程が近くなりましたら、館内掲示や町ホームページなどでお知らせしますので、どうぞ楽しみに！

Check

読書週間「よみくじを引こう！」

10月27日から11月9日までの読書週間中、本を借りると、あなたにおすすめの本・作家が載っている「よみくじ」と景品をプレゼントします。

つなぐ本棚 ～みんなでつくる図書室～

自宅で眠っている本はありませんか？よも〜よで回収し、希望者へわたす「つなぐ本棚」を実施します。9月4日から受入開始。詳細はお知らせ版で。

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

珈琲の違いを味わう時間 プロに教わる！珈琲教室

成人講座「プロに教わる！珈琲教室」が7月29日の昼と8月2日の夜、陸合ふれあい会館で行われ、2日間で29人が参加しました。

講師は、福島市「極久里珈琲」店主の市澤秀耕さん。はじめに、珈琲を淹れる器具（ペーパードリップと珈琲プレス）の抽出方法の違いを学び、飲み比べました。参加者は「同じ珈琲豆でも、抽出の仕方では味が違う」と驚いていました。次は、自分たちで珈琲を淹れます。2人1組で挽きたての豆2種類をペーパードリップで淹れました。90度弱の湯を「の」の字を書くように注ぎ、30秒ほど蒸らすことが重要であると学び、香りや豆が膨らむ様子を楽しみました。極久里特製の焼き菓子を食べながら2種類の珈琲を味わう贅沢な時間となりました。海外の珈琲豆の栽培や精製方法も学び、いい香りが漂う優雅な講座でした。



コツコツ投資 資産運用を学ぶ

成人講座「これから始める資産形成」が7月22日、イコーゼで行われ、10人が参加しました。

今年から新NISAも始まり、何かと話題になっている資産運用。福島信用金庫のマネーアドバイザーを講師に招き、お金に関する悩みや不安に答えていただきました。参加者は、資産運用がなぜ必要なのか、投資の基本やNISA・iDeCoの概要を学びました。短期の増減に一喜一憂しないなどのコツを教わり、今後の参考になったと満足そうな様子でした。



排出量減らそう ゴミの出し方教室

成人講座「いまさら聞けないゴミの出し方教室」が7月16日、町生活環境課職員を講師に行われ、13人が参加しました。

ゴミの排出量が全国ワーストクラスの桑折町。4月からゴミの収集日程が変わり、紙資源回収が追加されました。「可燃ごみとして捨てず、分別し資源として処分すれば再利用できる」と説明を受け、分別の重要性について学びました。普段のゴミの出し方についても質問が出て、日ごろの疑問に答える良い機会となりました。



親子で環境学習 乾電池をつくろう

夏休みのオープンキッズスクール「乾電池をつくろう」が7月21日、イコーゼで行われ、親子13組が参加しました。（一社）JBRC（東京都）の竹原定さんを講師に招き、環境にやさしい充電式電池について学びました。親子で協力して、実際に乾電池づくりに挑戦。湿らせた中紙が入った亜鉛の筒に、二酸化マンガンを入れ、炭素棒を打ち込み、ふたをするという流れで作りました。最後に会場を暗くして、一斉に豆電球を灯し、完成を喜び合いました。